

各会計決算の状況

(単位：千円)

区 分	歳入 (収入) 総額	支出 総額	差 引	
老人保健会計	891	891	0	
後期高齢者医療会計	43,225	43,202	23	
国民健康保険会計	582,111	580,844	1,267	
介護保険会計	341,753	334,670	7,083	
介護サービス事業会計	197,197	194,764	2,433	
下水道事業会計	222,926	222,925	1	
水道事業会計	収益収支	119,722	117,708	2,014
	資本収支	29,300	75,110	△ 45,810

※ 水道事業会計資本収支の不足額45,810千円は、損益勘定留保資金等で補填。

決算審査 特別委員会 22年度決算の認定

平成22年度一般会計及び各会計の歳入歳出決算は、9月15日開催の決算審査特別委員会（西埜委員長）において審査した結果、各会計決算とも認定すべきと決定し、第3回定例会で報告いたしました。

主たる審査の内容は以下のとおりです。

▼平成22年度小平町一般会計歳入歳出決算

歳入

Q 藤田委員
滞納繰越が継続している土木使用料（公営住宅料）について、不能欠損処分も含めた考え方を伺う。

A 阿部財政課長

使用料は私債権であることから、税と同じ滞納処分を行うことは難しい。今後、執行停止基準・債権管理基準などを検討し、適切な滞納処分・不能欠損処分を行いたい。



Q 工藤委員

住宅料の滞納について、他市では悪質滞納者に対して最終的に法的措置を講じているが、小平町の高額滞納者ほどのくらいか、また法的措置は考えているのか。

A 阿部財政課長

現在、公営住宅料の滞

納者は24名ほどおり、30万円から50万円の間で1名、そのほかは10万円以下である。強制徴収・差し押さえの関係については換価の問題もあり、なかなか難しいのが現状。

②緊急通報サービス事業の状況と新システムへの移行に対する考え方について。

③家族介護手当をもう少し手厚くすることは可能だと思いが、現在の内容と増額に対する考えを伺う。

歳出

■総務費

Q 東海林委員

本年、7月24日にアナログ放送が終了し、地デジ放送となったが、現在の受信地域の状況について説明を求める。

A 杉本企画室長

22年度までに平和・小平・鬼鹿中継局の整備が完了し、ほぼ全域をカバーしている。残っている6地区70戸については現在東京キー局の放送を視聴いただいているが、10月中にはデジタル放送を受信できる環境が整うよう事業を進めている。

■民生費

Q 藤田委員

①敬老会開催報償費につ

いて、各地区の開催状況を伺う。

②緊急通報サービス事業の状況と新システムへの移行に対する考え方について。

③家族介護手当をもう少し手厚くすることは可能だと思いが、現在の内容と増額に対する考えを伺う。

A 吉田保健福祉課長

①小平・本郷・白谷・達布地区は連合町内会で、大塚から豊浜地区については各町内会単位で実施している。敬老会を開催しない町内会もあるが、実際には記念品の配布などといったお祝いを実施している。

②決算時点では45名が利用しており、月に一度委託業者が通話をしながら安否確認を行っている。新システムへの移行については現在支障がでていないこともなく、しばらくは現状のまま利用したい。

③寝たきりの要介護者を